

平成31年2月5日

報道機関 各位

国立国語研究所・富山大学人文学部共催
消滅の危機にあることばと方言
方言モバイルミュージアム
—巡回展ならびにレクチャー—

富山大学人文学部では、国立国語研究所と共催で、「方言モバイルミュージアム」と称して、日本各地の消滅の危機に瀕した言語や方言の巡回展示を次のとおりおこないます。

日本語は、世界で8番目の話者数を誇り、将来にわたって話し続けられるであろう「安泰な safe」言語です。ところが、その日本語も地域の方言を見てみると、共通語の影響による衰退が著しいのが現状です。平成21年、ユネスコは日本で話されている、北はアイヌ語から、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国用言の8つの方言・言語を「危機言語」として認定しました。日本における日本語研究の中心、国立国語研究所は、これを受け、数年前から各地の方言の記録保存と復興のための様々な事業を展開してきました。方言モバイルミュージアムもその事業の一環で、すでに松江市、弘前大学で開催し、好評を博しました。今回はその第3回目の巡回展となります。巡回展では、国立国語研究所副所長の木部暢子教授が来学し、展示の見方・楽しみ方をレクチャーしてくださいます。

当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

【展示】日時：2019年2月12日(火)~2月19日(火)

場所：富山大学附属図書館中央図書館
1階エントランスホール

【レクチャー】「あなたも方言を展示してみよう」

日時：2019年2月14日(木) 15:30-17:00

場所：富山大学附属図書館2階アクティブラーニング・ゾーン
講師：国立国語研究所副所長 木部暢子先生

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学 人文学部総務課
TEL. 076-445-6131

国立国語研究所
富山大学人文学部
共催

2019年



国立国語研究所

消滅の危機にあることばと方言



方言モバイル・ミュージアム



展示

2月12日(火)～2月19日(火)

富山大学附属図書館中央図書館
1階エントランスホール

レクチャー

2月14日(木)15:30～17:00

「あなたも方言を展示してみよう」

講師：木部暢子先生
(国立国語研究所副所長)



富山大学附属図書館中央図書館
2階アクティブラーニング・ゾーン

お問い合わせ

富山大学人文学部大学人社系総務課
Tel 076-445-6131 Fax 076-445-6141

日本語学(中井精一)・言語学(呉人恵)担当